

コミュニティ・スクールに ついて



令和3年3月

北谷町学校教育課

1. コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」を設置している学校

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むための仕組みです。この制度を導入することにより、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めていくことができます。

「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ

学校と地域がパートナーとして連携・協働するために、学校は「地域に開かれた学校」から一歩踏み出し、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民・保護者と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へ転換していく必要があります。

2. 学校運営協議会制度

学校運営協議会の機能

学校運営協議会制度は平成16年に制定された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく制度であり、平成29年の法改正により学校への設置が努力義務化されました。協議会の主な機能としては次の3つがあります。

- (1) 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- (2) 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる
- (3) 教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができる

学校運営協議会委員の選出

協議会委員構成や人数・任期については、教育委員会が策定する「運営協議会規則」で定めることとなります。委員の構成メンバーとしては、保護者や自治会長、婦人会や青年会等の代表、地域学校協働活動推進員などが考えられます。



3. コミュニティ・スクール導入の効果

学校と地域の人々との関係づくりが、子どもたちの命や安全を守ることにつながるとともに、学力の向上、学校・地域の活性化といった成果が期待できます。

子どもたちが変わる(生きる力の育成)

- ・地域の教育力を生かした学びの充実
- ・自己肯定感や豊かな心の育成
- ・地域への愛着、地域の担い手としての自覚

保護者が変わる(当事者意識)

- ・学校や地域への理解の深まり
- ・子どもたちが地域の中で育てられている安心感
- ・保護者同士、地域の人々とのつながりの構築

学校が変わる(継続的な組織体制)

- ・地域の人々の理解、協力を得た風通しのよい学校運営の実現
- ・校長のリーダーシップのもとに学校のビジョンを地域の人々や保護者と共有
- ・教職員の人事異動に左右されない継続的な協働体制の構築

地域が変わる(地域づくり)

- ・学校、子どもたちとの関わり合いによる自己有用感や生きがいづくり
- ・地域ネットワークの形成

4. 学校評議員制度との違い

「学校運営協議会」は、地域の人々が学校の教育目標・ビジョンを共有し、校長の求めによらず意見を述べることができる一定の権限を有する合議制の機関です。

学校評議員制度とは

「学校評議員制度」は、校長の推薦により教育委員会から委嘱された学校評議員が校長の求めに応じて、学校の教育目標や教育活動などについて意見を述べたりするものです。学校運営に直接関与したり、拘束力のある決定をしたりするものではありません。

5. 今後の取組予定

- ・北谷町学校運営協議会規則を定め、導入モデル校を指定
- ・モデル校教職員・保護者・自治会への説明会開催
- ・モデル校学校運営協議会委員の委嘱及び協議会の開催

コミュニティ・スクールに関する Q&A

Q1 なぜ、コミュニティ・スクールを導入するのですか？

北谷町では、平成 29 年度に第五次北谷町総合計画基本構想・後期基本計画における町づくりの目標の一つ「学びのまち・北谷」の施策の方向性として「地域に開かれた学校づくり」を掲げ、「地域の声を反映した学校経営を推進するため、学校評議員制度の充実等を図る」ことを推進してきました。

今後、子どもたちが抱える多様化した課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、「社会総がかりでの教育」の実践が不可欠です。コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は学校と地域が目標を共有したうえで、今まで以上に一体となって子どもたちを育てるための仕組みとして導入するものです。

Q2 コミュニティ・スクールになると何が変わるのですか？

新しい学習指導要領に示されている「地域とともにある学校」を目指します。これまで以上に学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちを育てるという視点で活動を見直し、保護者や地域住民が参画しやすい学校へ変容させることを目標に取り組んでいきます。

Q3 コミュニティ・スクールにおける学校運営の責任者は誰ですか？

学校運営協議会は、教育目標などの大綱について承認を行うことにより、学校運営に関与するものです。日常の学校運営は、これまでどおり校長の権限と責任で行われます。このため、コミュニティ・スクールにおいても、学校運営の責任者は校長であることに変わりはありません。